

## 工藤副理事長の応援メッセージがホームページで紹介されました。

### ～福岡女学院大学 国際キャリア学科～



＝福岡女学院大学のホームページから一部抜粋＝

今回は、開発途上国へ環境技術協力等を行っている北九州国際技術協力協会（K I T A）の工藤副理事長にインタビューします。

国際キャリア学科では工藤副理事長をはじめ、国際ビジネスで第一線で活躍されている方々に講義やインターンシップなどご協力をいただく予定です。

福岡女学院大学のホームページは、右のアイコンをクリックし工藤副理事長の応援メッセージ（インタビュー記事）をご一読下さい。

福岡女学院  
大学

## ～福岡女学院大学（国際キャリア学科）での講演会に際して～

K I T A副理事長 工藤 和也

講演に当たり思うこと。

先日、福岡女学院大学の山口教授から講演を依頼されました。

山口教授は、3年前に北九州 J E T R O から J E T R O イスタンブール（トルコ）へ赴任され、昨年帰国し福岡女学院大学の教授に就任されました。

山口教授は海外経験が長く、特に中東に関して造詣が深く著書も多く出版されています。さて、大学での山口教授の担当は、国際キャリア学科で海外で活躍する女性を育成することです。

今回、海外で活躍する女性を育成するために参考になる話を依頼されました。

聴講生は、70名でこんなに大勢の女学生を相手に話をするのは初めてです。

90分間にわたって女学生を引き付けて話をするのは至難の業と思います。

私の講演内容は、山口教授と事前にすり合わせが必要ですが、以下のような筋立てを考えています

1. 自己紹介
2. K I T A の紹介
3. K I T A での海外の仕事の紹介
4. 海外で仕事をするための三つの精神（S p i r i t）
  - ・ **Volunteer Spirit**
  - ・ **World -wide Spirit**
  - ・ **Hospitality Spirit**
5. 海外で活躍する北九州の女性の紹介
  - ・ インドネシアで働く廃棄物処理業務（西原商事の女性）
  - ・ バングラディッシュで働く J E T R O の女性
6. ロシアの面白さ
  - ・ どんな国でも面白い一面がある
  - ・ 人の行きたがらない国へ行く
  - ・ ロシアと言う国の魅力と奥深さ
7. B O P ビジネス
8. 工藤からのメッセージ
 

**Girls be Ambitious**

若い皆さんには無限の可能性がある  
女性も大志を抱き世界に羽ばたく時代である

【講演資料の一部を紹介します】

## ウズベキスタンの親日感情の背景と今後の技術協力の可能性

KITA 副理事長 工藤 和也

筆者は昨年 JETRO（日本貿易振興機構）の仕事で、ウズベキスタン共和国の首都タシケントを訪問する機会に恵まれました。タシケントはシルクロードのオアシスとして中央アジアとヨーロッパを結ぶ中継基地でした。市内を歩くと、日本人によく似た容姿の人達を見かけます。

同国には、第二次世界大戦後旧ソ連によって抑留され、シベリアから強制的に移送された日本人が建設に参加した建造物があり、現在もなお使用されています。このことは、日本の技術の高さと勤勉さを示すもので、ウズベキスタンの人たちは、今も日本人に畏敬の念を抱いています。これら建物の一つに、有名な“ナヴォイ劇場”があります。劇場内の壁には、「この劇場は極東から強制移住させられた日本人によって建てられました」と、ウズベキスタン語、ロシア語、英語記載と共に日本語でも記された顕彰碑が掲げられています。劇場建設に際してソ連兵の監視下で、ろくに食料も与えられず、飢えと寒さのために多くの日本人が命を落としました。見るに見かねた現地の人たちは、夜にこっそり食料や毛布を差し入れてくれ、そのお陰で多くの日本人の命が救われたそうです。

また、写真の日本人墓地は、ソ連崩壊後にカリモフ同国大統領の指揮の下で建設・整備された日本人慰霊のための公園墓地です。周囲には日本から寄贈された沢山の桜の木が植えられ、春になると美しい花を咲かせているそうです。また、公園墓地では365日墓地を管理するウズベキスタン人の墓守が毎日墓を清めてくれています。

今でも若いお母さんは、自分の子供に「日本人のようになりなさい」と言って子供を厳しくかつ優しく躾けています。当時の日本人は厳しい環境下でも真面目に立派な仕事を成し遂げ、現地の人たちに強い印象を残しました。このことは母から子供へと語り継がれています。

今もウズベキスタンは世界で最も親日的な国家です。

昨今の複雑な世界情勢の中であって、このような親日国家もあることには心の安らぎを覚えます。今我々は、国家のあり方と他国との付き合い方を問われています。ウズベキスタンのような国に対しては手厚い協力をしたいと強い思いに駆られて帰国しました。



写真①



写真②

- ① ウズベキスタン共和国首都タシケントにあるナヴォイ劇場
- ② ウズベキスタン共和国首都タシケントにある日本人墓地